

競技運営マニュアル

(一社)神奈川県トライアスロン連合

T L 海野 浩

T D 岩田 聖市

a T D 稲田 隆俊

H R 宮城 信隆

この度は、第9回横浜シーサイドトライアスロン大会の競技運営にご協力いただき、誠にありがとうございます。当日の運営にあたっては、下記のマニュアルに沿って実施いただけますようお願いいたします。

<大会当日の集合について>

○集合時間 午前6時30分

○集合場所 八景大橋ゲート

○TO受付 午前6時50分(メイン会場 KnTU テント)

○マーシャルミーティング 午前7時(メイン会場 KnTU テント)

※当日の緊急連絡先 090-4173-3765 技術代表：岩田まで

<TO ドレスコードについて>

○服装：JTU TO ポロシャツ(白黒)、黒のスラックスまたはハーフパンツ。

(JTU TO ポロシャツをお持ちでない方は、県連合よりベスト(3種用)を貸与します)

○JTU TO 帽子を着用してください。

○雨具については透明のレインコートとし、傘は使用不可とします。

○サングラス：色の薄いものは使用可としますが、目の見えない濃いものは禁止といたします。

○審判員証／競技規則／ホイッスル(審判員資格保有者)、筆記用具は必ず持参してください。

※注) 競技中にTOが業務上必要な場合を除き、写真撮影することはご遠慮ください。

<競技規則について>

本大会は(公社)日本トライアスロン連合競技規則(20170901版)および以下のローカルルールを適用します。

http://www.jtu.or.jp/marshal/pdf/jtu_competition_rules_2017_Draft_20170901.pdf

○今大会において「スイムスキップ制度」を導入いたします。

○基本的に同伴フィニッシュは禁止ですが、トライアスロン「リレーの部」およびアクアスロン「ペアの部」「ペアチャレンジの部」はメンバーとの同伴フィニッシュを認めます。

○ペットボトル装着は、安全上の理由より禁止とします。ただし、ペットボトル専用ゲージを用い、キャップを取り外さなくても飲めるものに交換してある場合には認めるものとします。

○注意喚起を促しても直さない悪質なドラフティング行為、複数回の違反に対してはペナルティを科してください。とくにバ

イク移動審判員の方は、違反者を発見した場合は安全に配慮しながら「ストップ・アンド・ゴー」を科してください。

- 乗降車違反やストラップの装着脱違反については厳重に注意し、他の競技者に対して危険などがなければ、やり直しをさせてください。
- 前空きファスナー付ウェアの着用は可ですが、前ファスナーを下げた状態のままでは競技を行うことはできません。発見した場合は注意を行って、ファスナーを上げさせてください。

<基本事項について>

- ご承知の通り、本大会は初心者参加が多い大会です。従って、TO 一同、さまざまなポイントで丁寧に、分かり易く競技者に接することを心がけてください。
- 安全はすべてに優先します。傷病者を発見したら、他の競技者への二次災害防止にも配慮し、容態の確認と傷病者の搬送を行ってください。傷病者が意識・呼吸のない場合は、直ちに 119 通報し、大会本部へ無線連絡。それ以外の傷病者を発見した場合も大会本部へ報告し、その指示に従って対応してください。
- タイムスケジュール、各カテゴリーのスイム、ラン、バイクの周回数とコース、トイレ、本部、受付、コインロッカーなど選手に聞かれても答えられるようにしてください。
- 計測はアンクルバンドで行います。
- 配置に付きましたらコースの設営状況を確認し、必要に応じて競技実施の観点からコーンや案内板などをセッティングしてください。
- リタイア者の対応はアンクルバンドを回収し、レースナンバーを控えるとともに、無線等で H R 宮城 にレースナンバーをお知らせください。
- 競技会場は貸し切りではありません。一般の方も利用されます。協力をお願いするというスタンスで一般の方と接してください。

<各ポジションの注意事項について>

【スイム】

- アンクルバンドを各競技者が装着しているか、必ず確認してください。
- パラアスリートも参加しますが、特に SEA は用意しませんので手や肩を貸すなどの対応をお願いします。
- スイムウォームアップはグループごとに行います。
- アンクルバンド支給～競技説明会～スイムウォームアップ～スイムスタートの一連の流れがスムーズに行えるようコントロールしてください。
- スタートは、10 人ずつ 10 秒おきのローリングスタートとします。
- 計測マットを通過した時点でのスタートとなります。
- ローリングスタートのため、制限時間についての厳しい足切りは行わないこととします。明らかに完泳が困難と思われる選手や、大幅なタイムオーバーをされるとされる選手は海上でピックアップするものとし、スイムフィニッシュした選手は、制限時間オーバーしていても競技を続行できるものとします。但し、タイムオーバーの場合は、参考タイムとなり、表彰の対象にはなりません。なお制限時間は、トライアスロンおよびアクアスロン【一般の部】【男女ベアの部】は 12 分、アクアスロン【ペアチャレンジの部】は 6 分です。
- レスチューブの装着は認めます。
ただし、膨張させた場合はスイム競技を中止する意志であり、すぐに陸に引き揚げます。

○スイムスキップの適用は、競技開始前、1 周回目を完泳後、スイムピックアップ者で選手自らのスイムスキップ制度適用の意思表示があり医師、TO が健康状態を確認し、問題ないと判断があった場合に適用します。

【バイク】

- 各コーナーおよび折り返し地点ではしっかりと誘導してください。特にスピードを出し過ぎている競技者には減速の指示をしてください。
- ドラフティングは禁止です。目に余る行為を発見したら注意を促してください。
(ドラフティングは ITU ルール (前後 10m、サイド制限なし))
- 最終周回へは交通規制の関係より 13 時 00 分を越えて競技を継続することはできません。最終走者を確認次第、無線等で H R 宮城 にレースナンバーをお知らせください。
- 万一、コース内に緊急車両が通る場合は、競技者や一般・応援者などへ適切に指示し、安全を確保してください。

【ラン】

- 競技種目により、ランコースが変更になります。ミスコース等にご注意お願いいたします。
- 日差しが強い場合は熱中症の危険があります。水分、塩分補給をすすめてください。また、気分のよくなさそうな競技者を見つけたら、声掛けをしてください。
- コースは貸し切りではありません。一般の方や応援者に選手が通る旨を説明し、協力をお願いしてください。
- 最終走者を確認次第、無線にてレースナンバーをお知らせください。
- 万一、コース内に緊急車両が通る場合は、競技者や一般・応援者などへ適切に指示し、安全を確保してください。

【トランジション】

- 競技者エリア入場の際、バイクやヘルメットのチェックをお願いします。不適合の場合は無線等で H R 宮城 にレースナンバーをお知らせください。
- バイクのセッティングはルール通りであるか確認してください。また、競技以外の荷物がある場合は、荷物預かり所やコインロッカーに預けるよう指示してください。
- ヘルメットのストラップ装着脱、レースナンバーの前後位置などの確認、声掛けをお願いします。
- 当日の競技説明会はグループごとにスイム会場で実施しますので、早めの誘導をお願いします。
- トランジションエリアは、9:30 に一旦クローズします。競技の間合いをみながら、入場者をコントロールしてください。
- バイクピックアップ（トランジションエリア再オープン）は 13:15 から一斉に開始する予定です。

【フィニッシュ】

- ローリングスタートのため、T O の目視によるカテゴリーごとの着順判定、および記録は不要とします。
- ゴール手前ではサングラスをはずすことや、レースナンバーを前から確認できるよう指示してください。
- 同伴フィニッシュは、他の競技者に迷惑がからないようにコントロールしてください。

【その他】

- パラ選手の試走：8 時 30 分～8 時 45 分（トランジション集合）

以上、ご不明な点がございましたら、岩田または宮城までご連絡ください。